

古代文字から現代の文字まで、
さまざまな文字に触れながら、
石材のはんこを
つくりましょう。

教えてくださいださるのは
まえかわごみうせんせい
前川五風先生と
まえかわほううんせんせい
前川峰雲先生です。
数々の展覧会に入選され、
ますます活躍をされています。



●日時

2024

12/15日

第1部 10時～12時

第2部 14時～16時

*各部で内容に違いはありません。

●会場 立命館大学衣笠キャンパス
京都市北区等持院北町 56-1

●対象 小学3～6年生・中高生+保護者

*保護者同伴であれば1、2年生も可。

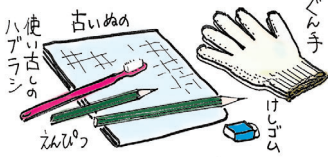
*彫刻刀を使用するため未就学児のご参加はおすすめ
できません。

●定員 1部2部ともに各25名(先着順)

保護者の方のお申込みもお受けしますが、お子さまの
申込みを優先させていただきます。

●参加費 1000円 (材料費・保険代込)

もちもの えんぴつ・けしゴム・くんで・
古いぬの・使い古しの歯ブラシ



* 彫刻刀は貸し出いたします。

◆ この活動では、団体広報や子どもゆめ基金への報告の
ために写真撮影を行います。

撮影した写真や映像等は、広報用にHPやSNS、刊
行物等に掲載することがあります。

なお、子どもゆめ基金へ報告用に提出した個人情報(写
真)は、「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個
人情報の適切な管理に関する規程」に基づき、子ども
ゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。

お問合せ・お申込先

学校法人立命館
立命館大学 衣笠キャンパス 地域連携課
(白川研文化事業事務局)

▶ お申込み WEB からお願いします。

WEB <https://ws.formzu.net/dist/S94852913/>

▶ お問合せ

Eメール toyomoji@st.ritsume.ac.jp

お申し込み
二次元コード



主催 学校法人立命館

立命館大学 白川静記念 東洋文字文化研究所

後援 京都市教育委員会

協力 立命館アカデミックセンター

■この催しは、子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の助成によるものです。

白川 静ってどんな人？

漢字の成り立ちを調べると、大昔の人の暮らし方や考え方が分かります。これまでは、2000年前の字書に書かれていた成り立ちを、後の人もずっと正しいと考えていました。

しかし、「そうではない」と自分の考えを表したのが白川静先生です。

およそ60年前のことです。白川先生は、大昔の人が亀の甲羅や獣の骨に刻んだ字を研究して、漢字の成り立ちについての新しい考えを発表しました。



大人の方へ

白川静博士（1910-2006）は、東洋研究の第一人者。中国古代人の生活や信仰にまで踏み込んで古代文字を分析。漢字の成り立ちについて、2000年来の解釈を覆す理論を打ち立てました。立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所は、白川博士の研究成果を元に、東洋文字文化について広く社会一般を対象とした教育と普及を行い、また学術研究の分野において東洋文字文化研究の進行と高度化を図ることを目的に活動を行っています。

漢字教育士とは

漢字の成り立ちや学説を理解し、漢字についての幅広い知識を身につけ、漢字の楽しさを知り、漢字の魅力伝えることができると、立命館大学白



川静記念東洋文字文化研究所が認定した方です。

現在、全国で約1100名の方が漢字教育士の資格を取得し、小・中・高校、書道教室以外にも、学童保育、放課後教室、カルチャー教室等に活躍の場を広げています。



詳しくは、

漢字教育士

検索

おしえて漢字くん!



うた:立命館小学校合唱部

字を取り上げ、楽しく歌って漢字の成り立ちに興味をもってもらうことを目的にした動画です。白川研認定の「漢字教育士」の有志が、作詞・作曲・編曲を手がけました。

YouTubeにて公開中!

『おしえて漢字くん!』は、小学校1年生で学習する漢字80

漢字には字源（成り立ち）と系統（つながり）があり、いろいろな漢字が密接に結びついています。そのため、漢字を学ぶ際にも、読む・書くにとどまらず、その原理を理解することが大切です。この歌は、ブロックのように順番をバラバラにして、五十音順や学習順など用途に合わせて利用することもできます。

おしえて漢字くん

検索